

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）アクションプラン進捗状況【平成30年度実績】

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
基本方針1 観光まちづくりを主体的に推進する人材育成と体制整備							
1	①	観光まちづくりに対する市民意識の醸成	◆観光まちづくりへの市民の理解を深め、地域が一体となった受入体制の気運を高めるため、観光PRポスターやチラシ等を作成し、市内公共施設、主要集客施設、イベント、展示会場等、市民が多く目に触れる場所に掲示し、広く周知を図る。	観光PRポスターやチラシ等の作成	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	【市・市観光協会】 観光誘客情報誌「るるぶ特別編集 稲沢市」を作成した。誌面づくりに際しては、「いなざわ観光まちづくりラボ」のメンバーと共にワークショップを行い、地域資源の発掘・再発見に努めるとともに、“稲沢市ならではの・稲沢らしさ”を掘り下げ、一年を通じて稲沢市の魅力を感じてもらえる内容とすることで、市民に稲沢市への愛着をさらに深めてもらえるよう努めた。完成後の情報誌は、市内の主要集客施設、イベント会場等、市民も多く目にする場所に設置した。 また、平成30年11月3日に開催した「いきいきいなざわ健康秋フェスタ」において、いきいきウォーキング(秋の稲沢よいとこ巡り 矢合・国分寺編)を実施した際に、参加市民に対して「るるぶ特別編集稲沢市」を贈呈し、まち歩きを通じた観光資源への再認識と市への観光に対する市民意識の向上を図った。 【市】 名鉄国府宮駅の地下改札前へのデジタルサイネージ設置に合わせて稲沢市の観光資源の紹介映像を作成。駅を利用する市民や通勤・通学者を対象に、本市の魅力の再認識と愛着の醸成、さらには観光資源への誘導を目的として放映している。 また、「第10回愛知県観光交流サミットinいなざわ」の開催に合わせて稲沢市の観光プロモーション映像を作成。サミットのオープニング映像として使用したほか、名鉄国府宮駅のデジタルサイネージにて放映している。
			◆観光まちづくりに主体的に取り組む方々の活動情報を発信する方策を構築するとともに、活動者自らが積極的に情報発信できるよう支援していく。	活動内容の情報発信	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	【市・市観光協会】 引き続き「るるぶ特別編集 稲沢市」やデジタルサイネージを活用した啓発に努めるとともに、織田信長公の有力な生誕地とされている勝幡城跡をはじめ、稲沢市周辺の信長公ゆかりの地域資源をまとめて紹介する冊子を新たに作成する。「(仮称)信長本」の制作にあたっては、資源の深掘りや整理を行う必要から、知見を有する市民や「勝幡城跡」のPRIに努める市民グループなどとの協働に努め、今後の観光まちづくり活動への展開を目指す。 【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 「いなざわ観光まちづくりラボ」のメンバーが中心となり、愛知県稲沢市の隠れた魅力を見つける!!発信する!!情報ポータルサイト「いいいなざわざわ」を平成30年4月1日付けで公開。市民が自ら記者となり、随時情報を発信している。
1	②	観光まちづくり推進体制の整備	◆観光まちづくりを持続的に推進していくための推進組織として、稲沢市観光協会をファシリテーターとし、市民、事業者、団体等の多様な関係者による協働ネットワークで構成される観光まちづくりプラットフォーム「(仮称)いなざわ観光まちづくりラボ」を設置する。	「(仮称)いなざわ観光まちづくりラボ」の立ち上げ 重点アクションプラン	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	【市観光協会】 前年度の稲沢市観光基本計画アクションプラン検討会議に参加したメンバーが中心となって観光まちづくり活動を展開していくことを見据え、平成30年7月4日に「いなざわ観光かまちづくりラボ」設立会議を開催した。(設立時メンバー数: 46名) (設立会議出席メンバー数: 16名) (設立時プロジェクト数: 4プロジェクト)
1	③	観光協会の組織・機能強化	◆稲沢市観光協会が持続的な観光まちづくりを推進する上で中核を担える存在となるよう、事業内容の整理や職員の適正配置、行政や関係機関・団体との連携を強化することで組織体制の充実を図る。	「(仮称)いなざわ観光まちづくりラボ」の運営 重点アクションプラン	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	【市観光協会】 ラボ設立後、多様な活動を希望する市民等が新たに参加し、8月30日、10月9日、12月12日と「いなざわ観光まちづくりラボ会議」を開催した。2月22日には30年度最後の活動報告会を行う予定である。(2/1現在メンバー数: 52名) (2/1現在プロジェクト数: 4プロジェクト)
			◆「(仮称)いなざわ観光まちづくりラボ」のファシリテーターとして、市民との協働によって地域の多様な魅力を掘り起こし、プロジェクトの企画立案を実践(アクション)につなげていく。	関係機関・団体と連携した観光メニューの創出	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	【市】 国の地方創生推進交付金を活用し、「いなざわ観光まちづくりラボ」設立による観光まちづくり事業として、ラボの運営を資金面で支援していく。 (平成31年度当初予算: 2,000千円計上) 【市観光協会】 今後のラボの運営方法や意義について、事務局だけでなく、ラボメンバーと共に考えていくことで、地域が主体となった自発的な活動展開を目指す。また、ラボに参加するメンバー中には、思いはあるものの具体的な活動へと発展できていない者もいるので、一歩を踏み出せるよう支援に努めていく。 【市・市観光協会】 市民や市内の関係機関・団体だけでなく、他地域の観光協会、名古屋鉄道や中日新聞社等、地域の観光事業者とも連携し、稲沢市の特色を活かした魅力ある観光メニュー(特に体験型)の創出を図っていく。
			◆本市ならではの観光メニューを活かした誘客促進を図り、適切な集客・販売ルートにより地域経済の活性化に向けた仕組みを構築する。				
			◆ターゲットを絞った戦略的な観光プロモーションを展開し、本市への来訪意欲を促すことで、消費意欲の喚起を図っていく。				
			◆効果的な自主事業の展開により収入と会員の増加を図り、自主財源を確保することで経営基盤を強化し、将来的に旅行業資格の取得及び法人化移行による独立採算経営の可能性について検討していく。				

NO.			アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
					観光協会における職員適正配置	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	【市・市観光協会】 愛知県職員による市町村サポーター制度(課題解決型)を活用し、観光協会の組織・機能強化について県、市、稲沢市観光協会との間で意見交換を行った。その結果、県サポーターから新たに専従職員が必要との認識の下、平成31年度前半に(公社)日本観光振興協会による観光専門家(アドバイザー)派遣制度を活用して必要な人材整理などの詳細設計を進め、後半で平成32年度からの採用に向けて職員募集を行ったかどうかとの提案を受けた。	【市・市観光協会】 (公社)日本観光振興協会から派遣された観光専門家(アドバイザー)と「稲沢市観光まちづくりビジョン」の考えに沿った新たな事業計画や平成32年4月採用に向けた専従職員募集のための要項作成を行う。 ＜上半期＞ 事業計画(まちづくりラボの年間運営、PR・プロモーション、マーケティングデータの取得・分析等)の作成、これらの計画を 実施するにあたりどのような人材、スキルが必要かを検討し、募集要項をの作成。 ＜下半期＞ 平成32年4月から常勤可能な人材の募集・選考 ・11月初:職員採用候補者募集 ・12月末:採用候補者決定
					適切な集客・販売ルートの拡充	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	【市・市観光協会】 今年度作成した「るるぶ特別編集稲沢市」を各種観光イベントで配布したほか、本市への来訪が見込めるエリアの施設等(名古屋近郊のショッピングスーパー、名鉄沿線主要駅、ビジネスホテル)に重点的に設置した。 【市・市観光協会】 愛知DCのキャンペーン期間を通じて、稲沢市にしかない貴重な観光資源「祖父江のイチョウ黄葉」を旅行事業者に対して重点的にPRした。その結果、今年度の「そぶえイチョウ黄葉まつり」には市内外から過去最多の27万人(観光バス45台・1,427人を含む。)が来場した。	【市・市観光協会】 来年度の愛知DCアフターキャンペーン期間(10月～12月)に開催される「そぶえイチョウ黄葉まつり」においても、引き続き多数の来場者が見込まれる。その一方で、現地での駐車場やトイレ、ガイドの確保等の課題も生じていることから、受入体制を勘案した適切な宣伝販売方法を検討していく。
					戦略的な観光プロモーションの実現	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	【市】 「第10回愛知県観光交流サミットinいなざわ」の開催に合わせて稲沢市の観光プロモーション映像を作成。サミットのオープニング映像に使用したほか、名鉄国府宮駅の地下改札前に設置したデジタルサイネージで放映している。 【市・市観光協会】 稲沢市ふるさと応援寄付制度(ふるさと納税)の返礼品に、稲沢市の観光資源の魅力を体験できるメニューとして国府宮はだか祭「なおい特別栈敷券(ペア5組限定)」を新たに追加した。 また、愛知県、JRとの連携により愛知DC観光列車を実施し、遠方から訪れた乗客に対して車中で祖父江のイチョウ黄葉や銀杏、国府宮はだか祭をはじめとする本市の観光資源をPRした(10月～12月:月1回)。 【市観光協会】 平成30年11月に岐阜市の長良川うかいミュージアムで、来館者に対し祖父江のイチョウ黄葉のPR、銀杏の試食試飲販売等を実施した。	【市】 前年度に着手した武将観光の取組を具体的かつ継続的な事業へと発展させ、地域のブランド化につなげていくため、「勝幡城跡」をはじめ、稲沢市周辺の信長公ゆかりの地域資源をまとめて紹介する冊子を作成する。作成後は、当冊子を活用して「(仮称)三英傑の歴史がスタートした地」としての本市の魅力を市内外へ積極的に発信していく。また、「お城EXPO」をはじめとする武将観光イベントに出展するなど、愛知県、愛知県観光協会と連携して「信長公生誕地・勝幡城跡＝稲沢市」の知名度向上と観光誘客につながるプロモーションを展開する。 【市・市観光協会】 愛知県、愛知県観光協会、JR東海との連携により愛知DCアフターキャンペーン事業を展開し、祖父江のイチョウ黄葉をはじめとする本市観光資源への誘客を図っていく。 【市・市観光協会・稲沢商工会議所】 ふるさと納税ポータルサイトを活用して、稲沢市ふるさと応援寄付制度の返礼品となる国府宮はだか祭「なおい特別栈敷券」や本市特産品のPRに努めることで、稲沢市の観光の魅力を全国に発信する。
					自主事業の推進による独立性の確保	市(商工観光課) 市観光協会	長期 (5年以上)	【市観光協会】 稲沢市マスコットキャラクター「いなッピーグッズ」等の販売による収益確保に努めた。	【市観光協会】 会員数の増加、ウェブサイトのバナー広告収入、旅行商品の企画販売等による収入増により自主財源の確保を目指す。
					法人化移行の検討	市(商工観光課) 市観光協会	長期 (5年以上)	【市・市観光協会】 法人化については早急に判断せず、稲沢市観光まちづくりビジョンに位置付けられた観光協会の役割を果たしていくために組織として何が必要かを検討していく中で、その意義について慎重に見定めていくこととした。 【市観光協会】 法人化した近隣市の観光協会について調査研究を行った。	【市・市観光協会】 先行地域の調査研究を引き続き進めるとともに、市観光協会の組織・機能強化を検討する中で、法人化の必要性を見定めていく。

NO.		アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
1	④	観光受入体制（おもてなし環境・おもてなし体制）の整備	◆国内外からの来訪者に対応するため、行政、市民、観光関係者が連携して、「おもてなし意識」の醸成や観光関連施設等の「おもてなし環境」を整備する。 ◆おもてなしの第一線で活躍する観光人材の育成に向けて、本市の歴史や文化、ガイドとしての心得等を学ぶ観光ボランティアガイド育成講座を継続的に開催するほか、市民や観光事業者が本市の魅力やおもてなしの作法等を学ぶことができる「おもてなし」講座や研修会を開催する。 ◆情報提供や人の交流などの機能を持ったおもてなしの施設づくりも併せて検討し、来訪・交流人口の拡大とリピーターの確保を図る。	観光ボランティアガイドの育成及び主体的な活動の支援	市観光協会	短期 （1～3年）	【市観光協会】 愛知DCの効果もあり、旅行者等から「そぶえいチョウ黄葉まつり」での現地ガイドの要請が殺到したため、11月の祭り開催時期に向けてガイド育成のための研修会や体験会を実施した。	【市観光協会】 来年度の愛知DCアフターキャンペーン期間（10月～12月）に、「そぶえいチョウ黄葉まつり」での現地ガイド要請が再度集中することが見込まれるため、ガイド研修機会をさらに設けるとともに、市内の関係団体や大学にも働き掛けて新たなボランティア参加者の確保を図る。
				「おもてなし」講座や研修会の開催	市観光協会	短期 （1～3年）	【市観光協会】 愛知県が主催する「あいち観光まちづくりゼミ」への参加や「あいち観光ボランティアガイドの会」への入会など、他地域の観光関係者との情報交換に努めた。	【市観光協会】 「おもてなし」講座や研修会の開催等について検討していく。
				観光案内看板や施設内誘導看板などの整備	市（商工観光課）	短期 （1～3年）	【市】 性海寺歴史公園（稲沢あじさいまつり会場）への大型案内看板（入口道路交差点に設置）を経年劣化のため修繕した。また、名鉄国府宮駅の地下改札前に観光情報発信用のデジタルサイネージを1基設置した。	【市】 赤染衛門歌碑公園の案内看板を経年劣化のため掛けかえる。また、市内主要4駅・市役所北玄関前の観光案内板6基と美濃路街道案内板2基の表記について多言語化（4か国語）を図るなど、外国人来訪者を対象とした案内看板の整備も順次行っていく。
				文化財の案内看板の拡充	市（生涯学習課）	短期 （1～3年）	【市】 善応寺の文化財駒札を経年劣化のため修繕した。	【市】 引き続き文化財所有者とも協力し、文化財標柱等の適切な維持・管理に努めるとともに、必要に応じて修繕等を行う。また、市指定史跡「勝幡城跡」の観光資源としての活用を関係部署とともに協議する中で案内看板の設置について検討していく。
				観光パンフレット設置場所の充実	市（商工観光課） 市観光協会	短期 （1～3年）	【市・市観光協会】 「るるぶ特別編集稲沢市」に掲載された施設や店舗に同誌を設置し、別目的で来訪した人々にも稲沢市の観光情報をPRすることで、相乗効果による来訪者増を狙った。	【市・市観光協会】 「るるぶ特別編集稲沢市」の設置場所の更なる拡充を目指すとともに、新たに作成する「（仮称）信長本」についても、ターゲットを意識した設置場所の選定に努める。
				デジタルサイネージの設置と活用	市（商工観光課） 市観光協会	短期 （1～3年）	【市】 稲沢市の主要玄関口である名鉄国府宮駅の地下改札前にデジタルサイネージを1基設置。本市の魅力の再認識と愛着の醸成、さらには観光資源への誘導を目指し、駅利用者に向けて本市の観光情報（観光PR動画、祭り・イベント情報など）を積極的に発信している。	【市・市観光協会】 名鉄国府宮駅のデジタルサイネージを活用した観光情報（観光PR動画、祭り・イベント情報など）の発信を積極的に行い、市内観光資源への誘導を目指す。また、効率的かつ効果的な運用に向けて、当媒体を活用した民間有料広告（広告料収入）の導入について検討していく。
				観光関連施設におけるWi-Fi環境の整備	市（商工観光課） 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者	中期 （3～5年）	未実施	【市】 名鉄国府宮駅の地下改札前に設置したデジタルサイネージの周辺エリアに無料Wi-Fi環境を整備する。
				まち歩きアプリの活用	市観光協会	中期 （3～5年）	未実施	【市観光協会】 実施に向けて検討していく。
				観光案内所の設置検討	市（商工観光課） 市観光協会	長期 （5年以上）	【市・市観光協会】 担当者間での意見交換に止まり、具体的な検討には至らず。	【市・市観光協会】 具体的な検討を進めていく。
1	⑤	外国人観光客の受入体制の整備	◆外国人観光客の観光ニーズは多様であり、国籍・文化・宗教等によりきめ細かな対応や受入側の理解が必要になるため、本市の持つ地域資源や文化に対して関心が高い国や属性等について、各種調査等を通じて継続的な把握に努める。 ◆多言語表記の観光案内看板の設置や多言語に対応した案内ボランティアの研修等を実施する。	各種調査等による外国人観光客の実態把握	市（商工観光課） 市観光協会	中期 （3～5年）	未実施	【市・市観光協会】 実態把握に向けた調査方法を検討していく。
				多言語表記の観光案内看板や施設内誘導看板などの整備	市（商工観光課）	中期 （3～5年）	未実施	【市】 市内主要4駅・市役所北玄関前の観光案内板6基と美濃路街道案内板2基の表記について、多言語化（4か国語）を図る。
				多言語観光ボランティアガイド育成の検討	市観光協会	中期 （3～5年）	未実施	【市観光協会】 稲沢市国際友好協会との連携による外国人向け観光ボランティアの育成を目指す。
				飲食店や宿泊施設などにおける多言語表記の啓発	市（商工観光課） 市観光協会 観光事業者 交通事業者	中期 （3～5年）	未実施	【市・市観光協会】 啓発方法について検討していく。
				まち歩きアプリと多言語ガイドブックの活用	市観光協会	中期 （3～5年）	未実施	【市観光協会】 実施に向けて検討していく。

NO.	アクションプラン名		内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
基本方針 2 稲沢市の魅力を体感でき、様々な分野や人をつなぐ観光・交流メニューの創出								
2	①	地域資源の活用と新たな観光資源の発掘	◆従来の観光資源（国府宮はだか祭をはじめとした祭り・イベント、桜、アジサイ、イチョウ黄葉等）に加え、自然、文化、歴史、産業、環境、健康、スポーツなどの様々な地域資源を掘り起こし、これらを活用し、つなぎ、磨き上げることによって、年間を通じて本市の魅力を体験できる着地型観光メニューを創出していく。 ◆メニューの創出にあたっては、各地域資源の歴史的背景やこだわりを“ヒト”との交流により伝えていくことで、新たな付加価値を生み出し、満足度の向上を目指す。	既存イベントにおける連携強化	市（商工観光課） 市観光協会 商工会議所 商工会 市民団体	短期 （1～3年）	【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 直後に開催を控える祭り・イベントのチラシを会場内で配布するなど、各祭り・イベントにおいて本市への再訪につなげるための取組を行った。 【市観光協会】 国府宮はだか祭の来場者に対し、市内の農業生産者や小売事業者の協力の下、会場付近の商店街とJA稲沢市支店の駐車場を利用して特産品の宣伝販売を実施した。 【稲沢商工会議所・平和町商工会】 「稲沢桜まつり」と「へいわさくらまつり」とで連携してPRに努めた。 【祖父江町商工会】 「そぶえイチョウ黄葉まつり」を開催し、イチョウの木コースター作り、銀杏試食コーナー、祐専寺イチョウや久寿原木などの有名スポットを回るスタンプラリー等を実施による地域資源のPRを行った。また、地元商店の出店や企業展を行うことにより、地域産業を知るきっかけづくりを行った。 【稲沢イルミネーション実行委員会（いなざわ観光まちづくりラボ）】 平成30年11月17日から12月24日まで国府宮参道で開催した稲沢イルミネーションにおいて、「ZAWA友FESTA」、「国分寺マルシェ」、「星川楽器」、「いなざ子ども食堂」をはじめとする市内活動団体と連携したイベント企画を実施し、幅広い集客につなげた。	【市】 市主催のまつりと市が後援したイベント（地域が主体となったイベント）の日程が重ならないよう配慮する。万が一重なった場合は、連携による相乗効果を模索する。 【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 引き続き祭り・イベント間の情報共有を図り、連携した情報発信に努めることで、年間を通じた来訪集客につなげていく。 【稲沢商工会議所】 他団体と連携し、相互交流を図る。 【祖父江町商工会】 引き続き「そぶえイチョウ黄葉まつり」を開催すること で、広く自然、産業を知るきっかけを提供し、稲沢市のPRIに努めていく。 【稲沢イルミネーション実行委員会（いなざわ観光まちづくりラボ）】 今後も市内で活動する団体等とイベント企画をはじめ幅広く連携を取りながら、事業を展開していく。
				地域資源の掘り起こしと活用方法の検討	市（商工観光課） 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者 市民団体 市民個人	中期 （3～5年）	【市】 市内を通る美濃路の歴史的役割を再確認し、ヒト・モノ・情報などの交流を図る施設として「（仮称）美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」の整備に着手した。 【市・国・県・市民団体】 サリオパーク祖父江の活性化、年間を通じた誘客に向けて「サリオパーク祖父江イベント実行委員会」を平成30年5月に発足させ、当地の特色を活かした多様なイベント企画を展開した。 【市・市観光協会・県・祖父江町商工会・JA愛知西・農商工業者】 「（仮称）イチョウ見本園」の整備に向けて、平成29年度の整備構想を経て、平成30年度中に基本計画の策定を行う。計画の策定にあたっては、「（仮称）イチョウ見本園基本計画検討会」による協議の下、見本園が「祖父江ぎんなん」ブランドを県内外に広くPRする役割を担う場となるよう検討を重ねるとともに、整備予定地の実施測量等も併せて実施する。 【祖父江町商工会】 イチョウの実である銀杏だけでなく、イチョウの葉や剪定枝、果肉などを活用し、イチョウの衣類防虫剤、フレグランスオイルキャンドル、イチョウ葉エキスリキッドの試作品開発を行った。	【市】 平成32年度のオープンに向けて「（仮称）美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」の整備工事を進める。 【市・国・県】 サリオパーク祖父江内の3公園のイベントが一年を通じて計画的に運営されるようにする。なお、国営公園にて砂丘利用の試験的運営が始まり、体験型アクティビティーの開催予定がある。 【市・市観光協会・県・祖父江町商工会・JA愛知西・農商工業者】 平成30年度に策定した「（仮称）イチョウ見本園基本計画」に基づき、実施設計業務及び用地取得を行っていく。見本園の完成後は、「そぶえイチョウ黄葉まつり」の新たな会場としてより多くの来場者を迎えるとともに、「年間を通じた多世代の交流」、「銀杏畑の景観やイチョウの原木、歴史、ウォーキングコースなど周辺資源とのつながり」、「ぎんなん収穫体験、各種イベント開催、農産物や特産物販売など、銀杏の需要拡大」により、地域の拠点として、地域活性化への効果が期待される。 【稲沢商工会議所】 新しい特産品の開発に取り組む。 【祖父江町商工会】 地域資源「イチョウ・銀杏」のさらなる掘り起こし、高齢化・後継者不足による生産者減少の食い止め、祖父江ぎんなんの小粒化・不作を補完する通年型商品開発、落葉・落実による環境問題への対応に努めていく。
				国府宮はだか祭体験参加プログラムの検討	市（商工観光課） 市観光協会 観光事業者 寺社 市民団体 市民個人	中期 （3～5年）	未実施	【市・市観光協会】 実施方法について研究していく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
2	②観光ルートの創出・ストーリーづくり	◆年齢、性別、グループといった基本属性、テーマ、季節など、マーケットのニーズに応じて様々な観光資源をつなげたモデルルートを創出する。	サリオパーク祖父江と善光寺東海別院等の周辺施設を組み合わせた観光ルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	未実施	【市観光協会】 5月上旬にサリオパーク祖父江近隣にある王子板紙工場外周のツツジ(稲沢市景観地50選の一つ)が見頃を迎えるので、サリオパークと善光寺東海別院、祖父江ふれあいの郷(天然温泉)を合わせて巡るツアーを企画検討する。
			自然と歴史文化を組み合わせた観光ルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	【市・市観光協会】 平成30年11月29日に開催した「第10回愛知県観光交流サミットinいなざわ」において、織田信長公生誕の地・勝幡城跡、「そぶえイチョウ黄葉まつり」会場、荻須記念美術館を巡り、屋食に稲沢市が誇る秋の味覚「銀杏懷石弁当」を提供するオプションル市内周遊バスツアーを実施した。 【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 「いなざわ梅まつり」の開催に合わせて、植木・苗木の産地でもある矢合地区内の文化財や名所を巡りながら地域の魅力を体験してもらうスタンプラリーを「いなざわ観光まちづくりラボ」のメンバーが実施した。	【市・市観光協会】 来年度の愛知DCアフターキャンペーン期間(10月～12月)に開催される「そぶえイチョウ黄葉まつり」において多数の来訪が見込まれるため、荻須記念美術館やサリオパーク祖父江、善光寺東海別院等と組み合わせた観光ルートを設定し発信することで、観光客の市内周遊へとつなげる。
			JAFと連携したドライブルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会 交通事業者	短期 (1～3年)	【市】 JAFとの観光連携協定を活用して「稲沢あじさいまつり」で『あじさい茶会』JAF割引を実施し、JAF会員である自動車ユーザーの誘客につなげた。	【市・市観光協会】 JAFとの観光連携協定を活用し、新たな周遊ドライブコースの設定及びJAF広報誌等での観光資源のPRに取り組む。
			武将観光ルートの創出	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	【市・市観光協会】 平成30年11月29日に開催した「第10回愛知県観光交流サミットinいなざわ」において、愛西市の名鉄勝幡駅前設置されている勝幡城推定復元模型と信長両親像、勝幡城跡をガイド付きで巡るオプションル市内周遊バスツアーを実施した。 【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 愛知県が主催する「あいち観光まちづくりゼミ」に参加した「いなざわ観光まちづくりラボ」のメンバーが、西尾張地域の観光関係者と共に織田信長公にゆかりのある資源をつなげたツアー「NOBUNAGA CODEを探せ」を企画。ゼミで内の審査の結果、JAF賞を受賞し、JAF MATEIにドライブコースとして紹介された。	【市・市観光協会】 愛西市の勝幡城推定復元模型と信長両親像、本市の勝幡城跡の石碑を含め、市内外に点在する信長公ゆかりの資源を巡る観光コースを創出して、観光誘客につなげることを検討する。
			市内企業・事業者と連携した産業観光ルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会 農商工業者	中期 (3～5年)	【市観光協会・農商工業者】 いなざわ梅まつりや名鉄ハイキング等の特定イベント時に、「明治なるほどファクトリー愛知」や「メタウォーター下水道科学館あいち」といった産業関連施設と連携した観光ルートを設定し、市内周遊性を高めた。	【市観光協会】 過去に連携実績のある「椿園」「しょうが屋木村」をはじめ、市内の企業・事業者等と協力して体験型の観光ルートの創出を図る。
			近隣市町と連携した広域周遊ルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	【市・市観光協会】 平成30年11月29日に開催した「第10回愛知県観光交流サミットinいなざわ」において、愛西市観光協会の協力を得て、名鉄勝幡駅前の勝幡城推定復元模型と信長両親像、勝幡城跡をガイド付きで巡るオプションル市内周遊バスツアーを実施した。 【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 愛知県が主催する「あいち観光まちづくりゼミ」に参加した「いなざわ観光まちづくりラボ」のメンバーが、西尾張地域の観光関係者と共に織田信長公にゆかりのある資源をつなげたツアー「NOBUNAGA CODEを探せ」を企画。ゼミで内の審査の結果、JAF賞を受賞し、JAF MATEIにドライブコースとして紹介された。	【市・市観光協会】 美濃路街道連携協議会の加盟自治体など、西尾張の近隣市町と協力して新たな観光周遊コースの創出を目指す。

NO.		アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
2	③	武将観光の推進	◆織田信長の生誕地説が有力である勝幡城を核とし、武将観光イベント等への参加を通じて「(仮称)三英傑の歴史がスタートした地」として本市の魅力を国内外に積極的にPRする。 ◆取り組みに際しては、有識者や歴史文化の保全・PRに取り組む地域の方々、武将観光を推進する愛知県や他自治体とも連携を強化し、事業を推進していく。	武将観光関連イベントへの出展・PR	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 市民団体	短期 (1～3年)	【市・市観光協会・県観光協会】 平成30年12月22日から24日までの3日間、パシフィコ横浜で開催された「お城EXPO 2018」に「信長公生誕地・勝幡城跡」で出展。愛知県、愛知県観光協会ほか県内自治体と連携し、三英傑ゆかりの城のPRを行った。	【市・市観光協会】 「お城EXPO」だけでなく、県内の武将観光イベントにも積極的に参加する。また、信長公を前面に押し出した宣伝資材(幟旗等)を作成し、インパクトのあるPRIに努める。
				「(仮称)三英傑の歴史がスタートした地」プロモーション事業	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 市民団体	中期 (3～5年)	【市・市観光協会】 平成30年11月29日に本市で開催した「第10回愛知県観光交流サミットinいなざわ」において、織田信長公の有力な生誕地とされている勝幡城址に着目したプログラムを各種展開した(日本城郭協会理事長・小和田哲男氏による基調講演、城郭考古学者・千田嘉博氏によるテーマ講演、信長公勝幡城出生説の発表者・石田泰弘氏のパネルディスカッション出演、勝幡城跡ほかを巡る市内周遊バスツアー)。 また、稲沢市公式マスコットキャラクター「いなッピー」の新ポーズとして「のぶながいなッピー」を制作し、「お城EXPO 2018」等でのプロモーションに活用した。 【市観光協会】 愛西市の協力を得て、勝幡城をVRで再現した映像を作成。ホームページ上で公開することで、「信長公の生誕地＝稲沢市」のPRIに努めた。	【市】 今年度の取組を具体的かつ継続的な事業へと発展させ、地域のブランド化につなげていくため、「勝幡城跡」をはじめ、稲沢市周辺の信長公ゆかりの地域資源をまとめて紹介する冊子を作成する。作成後は、当冊子を活用して「(仮称)三英傑の歴史がスタートした地」としての本市の魅力を市内外へ積極的に発信していく。 【市観光協会】 信長公をイメージしたグッズやパンフレットを作成し、武将観光を前面に押し出してPRを図る。
				関係機関との連携による武将観光の推進	市(商工観光課) 県 市観光協会 県観光協会 観光事業者	中期 (3～5年)	【市・市観光協会・県観光協会】 平成30年12月22日から24日までの3日間、パシフィコ横浜で開催された「お城EXPO 2018」に「信長公生誕地・勝幡城跡」で出展。愛知県、愛知県観光協会ほか県内自治体と連携し、三英傑ゆかりの城のPRを行った。	【市・市観光協会】 「お城EXPO」だけでなく、県内の武将観光イベントにも積極的に参加し、愛知県や愛知県観光協会、信長公と縁のある地域と連携したPRIに努めることで、本市の武将観光の取組を飛躍させる。
				武将観光ルートの創出(再掲)	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	【市・市観光協会】 平成30年11月29日に開催した「第10回愛知県観光交流サミットinいなざわ」において、愛西市の名鉄勝幡駅前に設置されている勝幡城推定復元模型と信長両親像、勝幡城跡をガイド付きで巡るオプション市内周遊バスツアーを実施した。 【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 愛知県が主催する「あいち観光まちづくりゼミ」に参加した「いなざわ観光まちづくりラボ」のメンバーが、西尾張地域の観光関係者と共に織田信長公にゆかりのある資源をつなげたツアー「NOBUNAGA CODEを探せ」を企画。ゼミで内の審査の結果、JAF賞を受賞し、JAF MATEIにドライブコースとして紹介された。	【市・市観光協会】 愛西市の勝幡城推定復元模型と信長両親像、本市の勝幡城跡の石碑を含め、市内外に点在する信長公ゆかりの資源を巡る観光コースを創出して、観光誘客につなげることを検討する。
2	④	産業観光の推進	◆農商工業に関連する技術や生産地、工業施設など、産業を観光資源として活用し、本市の製品を国内外へPRするとともに、生産者が来訪者と交流することで、産業技術の継承、雇用の確保、新たな製品開発等を促し、地域産業の振興を図る。 ◆本市の都市イメージとして印象強い「植木産業」をはじめ、本市の地場産業の技術を活用したイベント、伝統技術や最先端の工業技術を活用した体験会・見学会等を観光的側面も含めて実施することで、誘客の促進を図るとともに、本市の優れた製品や技術を国内外にPRする。	見学受入可能施設の掘り起こし	市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会	短期 (1～3年)	【平和町商工会】 へいわさくらまつりの開催に合わせ、平和工業団地内にある「明治なるほどファクトリー愛知」の施設見学を前年度に引き続き実施した。	【市】 市関係団体に所属し、見学可能な圃場農園があり、受入れの意思がある場合は、市HPに公表することなどを検討する。 【祖父江町商工会】 祖父江町内の主に大企業を対象として、見学を引き受けてもらえるよう働きかけていく。 【平和町商工会】 へいわさくらまつりの開催に合わせた「明治なるほどファクトリー愛知」の施設見学について、次年度も同様に計画しているが、来訪者数の増加が予想され、駐車場の確保が課題となっている。
				対外的に誇るべき市内企業・事業者の製品や技術に関する情報発信	市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 ・商工会	短期 (1～3年)	【市・稲沢商工会議所】 市内に本社を構える株式会社昭和(食品流通業者)と連携して特産品を市内外のバイヤーにPRした。	【市】 市関係団体に所属し、見学可能な圃場農園があり、受入れの意思がある場合は、市ホームページでの公表等を検討する。 【祖父江町商工会】 機会を捉えて、市内企業・事業者の製品・技術のPRに努める。

NO.			アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
					市内企業・事業者と連携した産業観光ルートの設定（再掲）	市（商工観光課） 市観光協会 農商工業者	中期 （3～5年）	【市観光協会・農商工業者】 いなざわ梅まつりや名鉄ハイキング等の特定イベント時に、「明治なるほどファクトリー愛知」や「メタウォーター下水道科学館あいち」といった産業関連施設と連携した観光ルートを設定し、市内周遊性を高めた。	【市観光協会】 過去に連携実績のある「椿園」「しょうが屋木村」をはじめ、市内の企業・事業者等と協力して体験型の観光ルートの創出を図る。
					ものづくり体験や収穫体験ができる産業観光メニューの創出	市（商工観光課） 市観光協会 農商工業者	中期 （3～5年）	【市・市観光協会（いなざわ観光まちづくりラボ）】 いなざわ観光まちづくりラボメンバー（稲沢フルーツ園）が平成30年5月から愛知文教女子短期大学と協同で農業民泊プロジェクトと題し、民泊体験等を行うプランを考案した。2～4月に実施するモニター民泊体験にて意見を集約するなど、平成31年5月からの本格実施に向けて現在準備を進めている。	【市・市観光協会（いなざわ観光まちづくりラボ）】 農業体験民泊の本格実施の際には、事業者となるメンバーと連携し、観光メニューの創出につなげる。
					産業観光メニューに関する情報発信	市（商工観光課） 市観光協会 商工会議所 ・商工会	中期 （3～5年）	未実施	【祖父江町商工会】 商工会のホームページやTwitterなどを有効活用して、産業観光メニューの情報発信をこまめに行っていく。 【平和町商工会】 既存の企業と今後平和工業団地内に誘致される企業等を含め、情報発信に努めていく。
2	⑤		周辺地域との広域連携の推進による誘客促進	◆愛知県や愛知県観光協会のほか、美濃路・木曽川沿線自治体など本市と共通のテーマ・資源を持つ自治体や観光事業者等との連携により観光ルートの創出やイベント・キャンペーンを開催し、エリアとしての誘客を図る。 ◆本市の地域資源と周辺市町の地域資源を効果的に組み合わせ、広域的に連携することで国内外からの誘客を促進し、来訪・交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげる。	広域連携による観光ルートの創出	市（商工観光課） 国・県 市観光協会 県観光協会 観光事業者 交通事業者	中期 （3～5年）	【市・市観光協会・県観光協会】 平成30年11月29日に開催した「第10回愛知県観光交流サミットinいなざわ」において、勝幡城跡地を共有する愛西市（観光協会）の協力を得て、名鉄勝幡駅前の勝幡城推定復元模型と信長両親像、勝幡城跡をガイド付きで巡るオプション市内周遊バスツアーを実施した。	【市・市観光協会】 愛西市の勝幡城推定復元模型と信長両親像、本市の勝幡城跡の石碑を含め、市内外に点在する信長公ゆかりの資源を巡る観光コースを創出して、観光誘客につなげることを検討する。 また、美濃路街道連携協議会の加盟自治体など、西尾張の近隣市町と協力して新たな観光周遊コースの創出を目指す。
					広域観光組織及び協議体への参画	市（商工観光課） 市観光協会	長期 （5年以上）	【市】 平成30年11月29日に開催した「第10回愛知県観光交流サミットinいなざわ」において、会場内に美濃路街道連携協議会の共同ブースを加盟自治体との連携により設置し、美濃路パネルの展示や観光パンフレット等の配布による観光PRを行った。	【市・市観光協会】 本市と共通のテーマ・資源を持つ自治体や観光事業者等との連携を模索する中で、広域観光組織や協議体への参画も視野に入れる。
2	⑥		寺社との連携強化による文化財の活用	◆文化財の活用に向けて、文化財所有者で組織する連絡協議会、行政及びボランティアガイドの団体による連絡会議を開催し、公開に向けた方策を検討する。	文化財の活用に関する協議体による検討	市（生涯学習課） 市観光協会 寺社 市民団体	短期 （1～3年）	実施なし	【市】 関係者による連絡会議を開催し、公開に向けた具体的な課題と対処方法を話し合っていく。 【市観光協会】 平成31年4月13日に市内亀翁寺で25年に一度の需要文化財「虚空蔵菩薩坐像」の公開が行われるため、その機会を捉えて観光面での活用と周知に努める。
2	⑦		サリオパーク祖父江を核とした体験型観光の推進	◆毎年多くの賑わいと交流が生み出されている稲沢夏まつり、稲沢サンドフェスタや東海シクロクロス大会、絶滅危惧種の野鳥類をはじめ貴重な生物の生息観察ができる環境学習会（自然観察会）などの催しをさらに磨き上げるとともに、国・県との連携の下、ウィンドサーフィンや水上バイク、サップヨガなどの水上スポーツ、バーベキューや砂丘を活用した体験型イベントなど、サリオパーク祖父江の特色を活かした「ここでしかできない」自然体験型の観光メニューを創出し、年間を通じた集客へとつなげていく。	サリオパーク祖父江と善光寺東海別院等の周辺施設を組み合わせた観光ルートの設定（再掲）	市（商工観光課） 市観光協会	短期 （1～3年）	未実施	【市観光協会】 5月上旬にサリオパーク祖父江近隣にある王子板紙工場外周のツツジ（稲沢市景観地50選の一つ）が見頃を迎えるので、サリオパークと善光寺東海別院、祖父江ふれあい郷（天然温泉）を合わせて巡るツアーを企画検討する。
					環境学習会（自然観察会）の開催	市（環境保全課） 国	短期 （1～3年）	【市】 平成30年5月26日に自然観察会（植物及び昆虫の観察）を開催した。 （参加者：小学生22人、保護者23人、幼児6人） ※7月21日は猛暑のため開催中止。	【市】 平成31年5月25日（土）、7月20日（土）に自然観察会（植物及び昆虫の観察）を開催予定。なお、次年度から観察時間を短縮して実施する（午前9時～11時30分 → 午前9時～10時30分）。
					サリオパーク祖父江の特色を活かした体験型観光メニューの創出	市（商工観光課） 市（都市整備課） 国・県 市観光協会	短期 （1～3年）	【市・国・県】 サリオパーク祖父江の活性化、年間を通じた誘客に向けて「サリオパーク祖父江イベント実行委員会」を平成30年5月に発足させ、当地の特色を活かした多様なイベント企画を展開した。	【市・国・県】 3公園のイベントが一年を通じて計画的に運営されるようにする。なお、国営公園にて砂丘利用の試験的運営が始まり、体験型アクティビティーの開催予定がある。
					サリオパーク祖父江における適切な公園機能の充実と周辺道路の整備	市（都市整備課） 国・県	中期 （3～5年）	【市】 道路整備について、平成24年度設計、平成29年度から用地買収、平成30年度から工事着手、平成32年度完了予定の計画で進めている。	【市】 都市計画変更、民間用地買収完了、一部工事施工を予定。また、道路整備に合わせた3公園の一体利用の促進に向けて、祖父江3公園整備運営協議会で協議していく。

NO.	アクションプラン名		内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
2	⑧	”農”を活用した体験型観光メニューの創出	◆「祖父江ぎんなん」のさらなるブランド力の向上を目指して、代表4品種である「久寿」「藤九郎」「栄神」及び「金兵衛」の保全を行い、広く銀杏を県内外にPRする場となる「（仮称）イチョウ見本園」を整備し、来訪者にそぶえイチョウ黄葉まつりと合わせて回遊してもらうなど、新たな市内名所として活用する。 ◆地域との連携により、田植え・稲刈り等の農業体験や自然環境学習が行える“農”を活用した体験型メニューの創出に取り組むとともに、市内外の方が気軽に参加できる農業体験農園を開設しようとする農業者、民間企業等の発掘にも努める。	地域と連携した農業体験メニューの創出 農業体験農園の整備、農業体験の場の提供 植木・苗木、祖父江ぎんなん等の農産品の販売拡充 「（仮称）イチョウ見本園」整備事業	市（商工観光課） 市（農務課） 市（環境保全課） 農商工業者 市民団体 市（農務課） 農商工業者 市（農務課） 商工会 JA 農商工業者 市（農務課） 県 商工会 JA 農商工業者	短期 （1～3年） 短期 （1～3年） 短期 （1～3年） 中期 （3～5年）	【市・市民団体】 NPO法人祖父江のホテルを守る会の実験田で、平成30年6月16日、8月18日、10月6日、10月27日の計4回自然観察会を実施した。実験田は無農薬農法及び冬季湛水を実施し、年間を通してミナメダカなどの水生生物が生存している。また、稲刈りの時期にはたくさんさんのイナゴも見られ、幅広い層に環境の学びの場を提供している。 【市・市観光協会（いなざわ観光まちづくりラボ）】 いなざわ観光まちづくりラボメンバー（稲沢フルーツ園）が平成30年5月から愛知文教女子短期大学と協同で農業民泊プロジェクトと題し、民泊体験等を行うプランを考案した。2～4月に実施するモニター民泊体験にて意見を集約するなど、平成31年5月からの本格実施に向けて現在準備を進めている。 【市・JA愛知西】 JA愛知西・一宮市・稲沢市の共同運営による「はつらつ農業塾」の実施及び市内小学校にてサツマイモの定植・収穫体験を行う「農業体験学校」を実施した。また、きらくの郷（農業者団体）によるブルーベリー及びみかん等の果樹苗木の定植、収穫体験会を実施し、計195人が参加した。 【市】 植木・苗木については、市内だけでなく、一宮市など近隣市町村のまつりにも4回出店した。銀杏については、過去2年出店していたイベントが開催されなかったため、実績なし。 【祖父江町商工会】 「そぶえイチョウ黄葉まつり」において銀杏の出店販売を行い、県内外の来場者に購入してもらった。また、地域特産品を取り扱うために合同会社を設立し、販路拡大に努めた。 【市】 平成29年度の整備構想を経て、平成30年度中に基本計画の策定を行う。計画の策定にあたっては、「（仮称）イチョウ見本園基本計画検討会」による協議の下、見本園が「祖父江ぎんなん」ブランドを県内外に広くPRする役割を担う場となるよう検討を重ねるとともに、整備予定地の実施測量等も併せて実施する。 【市観光協会・県・祖父江町商工会・JA愛知西・農商工業者】 （仮称）イチョウ見本園基本計画検討会に参画し、意見交換を重ねた。	【市・市民団体】 NPO法人祖父江のホテルを守る会の実験田で平成31年6月15日、8月24日、10月5日、10月26日の計4回自然観察会を開催予定。 【市観光協会（いなざわ観光まちづくりラボ）】 農業体験民泊の本格実施の際には、事業者となるメンバーと連携し、観光メニューの創出につなげる。 【市】 市民農園や農業体験農園等の現状把握及び今後開設しようとする農業者の発掘に努める。既に取組を実施している農業者団体に対しては、受入れの意思がある場合、市民向け広報を中心に活動を支援していく。 【市】 植木、苗木については、市内のまつり以外にも引き続き出店していく。銀杏については、名古屋での販売の機会を模索していく。 【祖父江町商工会】 「そぶえイチョウ黄葉まつり」において、引き続き銀杏の販売を実施する。合同会社についても、商品ラインナップを充実させ、より多くの方への販売を目指す。 【市】 平成30年度に策定した基本計画に基づき、実施設計業務及び用地取得を行っていく。「（仮称）イチョウ見本園」の完成後は、「そぶえイチョウ黄葉まつり」の新たな会場としてより多くの来場者を迎えるとともに、「年間を通した多世代の交流」、「銀杏畑の景観やイチョウの原木、歴史、ウォーキングコースなど周辺資源とのつながり」、「ぎんなん収穫体験、各種イベント開催、農産物や特産物販売など、銀杏の需要拡大」により、地域の拠点として、地域活性化への効果が期待される。 【市観光協会・県・祖父江町商工会・JA愛知西・農商工業者】 引き続き密な意見交換を実施し、「（仮称）イチョウ見本園」の完成を目指す。
2	⑨	健康づくりと運動したまち歩きの推進	◆健康づくり用のスマートフォンアプリ、観光ガイドブックとウォーキングマップが一体となったマップを作成し、まち歩きに活用してもらうことで、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図るとともに、来訪者による市内周遊性の向上と地域の魅力発見につなげ、ウェルネスツーリズムをコンセプトとした新たな事業展開を目指す。 ◆アプリを活用したウォーキングポイント制度として、ウォーキングに参加することでポイントが加算され、貯まったポイントと引き換えに特産品等の景品を贈呈する取り組みを検討する。	健康づくりアプリ・ウォーキングマップの作成 ウォーキングポイント制度の検討 ウェルネスツーリズム事業	市（健康推進課） 市観光協会 市（健康推進課） 商工会議所 商工会 農商工業者 市（健康推進課） 市観光協会 商工会議所 商工会 観光事業者 交通事業者 農商工業者	短期 （1～3年） 短期 （1～3年） 中期 （3～5年）	【市】 平成30年11月3日に開催した「いきいきいなざわ健康秋フェスタ」において、いきいきウォーキング（秋の稲沢よいとこ巡り 矢合・国分寺編）を実施した。市民に市内矢合地区を散策してもらうとともに、今年度作成した観光情報誌「るるぶ特別編集稲沢市」を配布し、観光資源への再認識と市への観光に対する市民意識の向上を図った。 未実施 【祖父江町商工会】 通年型のツーリズム事業として、新緑時のイチョウを巡るセラピーウォーキング、サリオパーク祖父江を巡るノルディックウォーキング、黄葉時のイチョウを巡るセラピーウォーキングを実施した。	【市】 観光ガイドブックや「るるぶ特別編集稲沢市」をはじめ既存のパンフレットを活用しながら、ウォーキングイベント等の地域の魅力を発見できる機会を増やしていく。 【市】 実施に向けて調査研究していく。 【市】 実施に向けて調査研究していく。 【市観光協会】 市と協力して観光地点を巡る魅力的なウォーキングコースの設定等を行い、まち歩きの促進を図る。 【祖父江町商工会】 休止している祖父江町内サイクリングコースの復活を検討していく。また、各種ウォーキングイベントの広報にも注力し、参加者増を目指す。

NO.		アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
2	⑩	荻須記念美術館の魅力向上	◆本市が輩出した荻須高德画伯を顕彰する美術館をシンボルとして芸術文化の振興を図る。 ◆荻須画伯に関する作品、資料のさらなる収集に努め、特別展・企画展を開催することで鑑賞の機会を提供し、市内外からの幅広い集客を図る。 ◆市内の大学等と連携し、体験型イベントをはじめ、美術館の魅力向上と集客につながる事業を展開していく。	特別展・企画展の開催	市（美術館）	短期 （1～3年）	【市】 平成30年10月27日か12月9日までを会期とし、市制60周年開館35周年記念特別展として「山形美術館の名品と荻須が見たパリ画壇展」を実施した。 （会期中入場者数：7,158人）	【市】 今後も顕彰画家である荻須高德や荻須に関連する作家等を紹介する展覧会を企画し、鑑賞の機会を提供していく。
				稲沢市美術館大学パートナーシップ事業	市（美術館） 大学	短期 （1～3年）	【市・大学】 市制60周年開館35周年記念特別展に関連した連携事業を市内各大学と実施した。 ＜名古屋文理大学＞ 平成30年10月28日に、特別展鑑賞と戦後パリで流行した音楽を鑑賞する連携企画を実施（サロン・ドゥ・パリ）。 ＜愛知文教女子短期大学＞ 平成30年12月1日に、着物を着て特別展鑑賞と飲食店で限定メニューを楽しむ企画を実施（エスプリ・ドゥ・フランス）。 また、特別展に合わせて、愛知文教女子短期大学生活文化学科の学生の協力を得て、美術館周辺のグルメマップと特別展限定メニューチラシを作成した。	【市・大学】 大学との連携をさらに深め、魅力ある美術館大学パートナーシップ事業を展開していく。
2	⑪	四季の地域資源を活用したまつり・イベントの開催	◆国府宮はだか祭、さくらまつり、植木まつり、あじさいまつり、サンドフェスタ、イチヨウ黄葉まつりなど、季節や地域の魅力を伝えることができる祭り・イベントを持続的に開催できるよう支援を行っていく。 ◆これらの既存イベントに加え、特産品を活用した食のイベントや体験型イベントなど、地域の魅力をつなぎ、来訪者が気軽に楽しめる新たなイベントを地域とともに創出し、来訪者の増加を図る。	稲沢桜まつり・へいわさくらまつり	商工会議所 商工会	短期 （1～3年）	【稲沢商工会議所】 平成30年4月7日に国府宮参道でメイン行事を開催した。 （来場者数：4,000人） 【平和町商工会】 平成30年4月7日に稲沢市平和町体育館及びその周辺で開催した。 （来場者数：3,000人）	【稲沢商工会議所】 平成31年4月6日に国府宮参道でメイン行事を開催予定。 【平和町商工会】 平成31年4月6日に稲沢市平和町体育館及びその周辺で開催予定。
				いなざわ植木まつり	市（農務課）	短期 （1～3年）	【市】 平成30年4月20日から29日まで国府宮参道で開催した。 （期間中來場者数：55,000人） ※植木の販売だけでなく、体験講座やセリ市など幅広い年代に対して縁に親しむ機会を提供した。来場者の声として、出店者の減少（H30：9店舗）の指摘を受けている。	【市】 平成31年4月20日から29日まで国府宮参道で開催予定。 高齢化による出店者の減少や、どこでも植木を購入できる環境への変化から祭りのあり方を再考していく必要性が生じている。引き続き縁に親しむ事をテーマとするが、植木の販売をメインとしつつ、市内植木を使った見本園、花きや農産物販売等を取り入れた祭りへの転換も検討していく。
				稲沢あじさいまつり	市（商工観光課）	短期 （1～3年）	【市】 平成30年6月1日から17日まで大塚性海寺歴史公園及び性海寺で開催した。 （期間中來場者数：54,000人）	【市】 平成31年6月1日から16日まで大塚性海寺歴史公園及び性海寺で開催予定。 次年度は、会場である大塚性海寺歴史公園のさらなる魅力発信のため、①稲沢あじさいまつりパンフレットの内容拡充、②アジサイを主役に考えた行事の企画、③園内ガイドの実施検討に取り組んでいく。
				稲沢夏まつり	市民団体	短期 （1～3年）	【稲沢夏まつり実行委員会】 平成30年8月25日にサリオパーク祖父江で開催した。 （来場者数：54,500人）	【稲沢夏まつり実行委員会】 平成31年8月末にサリオパーク祖父江で開催予定。
				稲沢サンドフェスタ	市（都市整備課）	短期 （1～3年）	【市】 平成30年10月13日、14日にサリオパーク祖父江で開催した。 （両日來場者数：51,000人 ※初の5万人超え）	【市】 平成31年10月中旬にサリオパーク祖父江で開催予定。 平成30年度は第30回に加え、稲沢市制60周年という記念の年の開催であったため、例年より予算が増額され特別なイベントの実施が可能であったが、次年度は通常予算であるため、飲食店とイベントの見直しにより、集客と満足度の維持に努めていく。
				稲沢まつり	商工会議所	短期 （1～3年）	【稲沢商工会議所】 平成30年10月20日・21日に国府宮参道、稲沢中学校、名古屋文理大学文化フォーラムほかで開催した。 （両日來場者数：107,000人）	【稲沢商工会議所】 平成31年10月19日・20日に国府宮参道、稲沢中学校、名古屋文理大学文化フォーラムほかで開催予定。 次年度に向けて既存イベントの見直しに取り組んでいく。
				そぶえイチヨウ黄葉まつり	商工会	短期 （1～3年）	【祖父江町商工会】 平成30年11月23日から12月2日まで祐専寺及びその周辺、祖父江町体育館で開催した。 （期間中來場者数：271,750人 ※過去最多）	【祖父江町商工会】 平成31年11月下旬から祐専寺及びその周辺、祖父江町体育館で開催予定。 次年度も来場者増につながるイベントづくりを行っていく。

NO.		アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
				国府宮はだか祭	寺社	短期 (1～3年)	【尾張大國靈神社(国府宮)】 平成31年2月17日に尾張大國靈神社(国府宮)で開催する。	【尾張大國靈神社(国府宮)】 平成32年2月6日に尾張大國靈神社(国府宮)で開催予定。
				いなざわ梅まつり	市観光協会	短期 (1～3年)	【市観光協会】 平成31年3月2日・3日に愛知県植木センターで開催する。	【市観光協会】 平成32年3月上旬に愛知県植木センターで開催予定。 駐車場や開催場所のスペースに限りがあるため、周辺の施設とも連携を図り、来場者が周遊しながら楽しめる魅力的なイベントとなるよう工夫していく。
				既存イベントにおける連携強化(再掲)	市(商工観光課) 市(農務課) 市(都市整備課) 市観光協会 商工会議所 ・商工会 市民団体	短期 (1～3年)	【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 直後に開催を控える祭り・イベントのチラシを会場内で配布するなど、各祭り・イベントにおいて本市への再訪につなげるための取組を行った。 【市観光協会】 国府宮はだか祭の来場者に対し、市内の農業生産者や小売事業者の協力の下、会場付近の商店街とJA稲沢市支店の駐車場を利用して特産品の宣伝販売を実施した。 【稲沢商工会議所・平和町商工会】 「稲沢桜まつり」と「へいわさくらまつり」とで連携してPRに努めた。 【祖父江町商工会】 「そぶえイチョウ黄葉まつり」を開催し、イチョウの木コースター作り、銀杏試食コーナー、祐専寺イチョウや久寿原木などの有名スポットを回るスタンプラリー等を実施による地域資源のPRを行った。また、地元商店の出店や企業展を行うことにより、地域産業を知るきっかけづくりを行った。 【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 平成30年11月17日から12月24日まで国府宮参道で開催した稲沢イルミネーションにおいて、「ZAWA友FESTA」、「国分寺マルシェ」、「星川楽器」、「いなざ子ども食堂」をはじめとする市内活動団体と連携したイベント企画を実施し、幅広い集客につなげた。	【市】 市主催のまつりと市が後援したイベント(地域が主体となったイベント)の日程が重ならないよう配慮する。万が一重なった場合は、連携による相乗効果を模索する。 【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 引き続き祭り・イベント間の情報共有を図り、連携した情報発信に努めることで、年間を通じた来訪集客につなげていく。 【稲沢商工会議所】 他団体と連携し、相互交流を図る。 【祖父江町商工会】 引き続き「そぶえイチョウ黄葉まつり」を開催することで、広く自然、産業を知るきっかけを提供し、稲沢市のPRに努めていく。 【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 今後も市内で活動する団体等とイベント企画をはじめ幅広く連携を取りながら、事業を展開していく。
2	⑫	観光行動及び交流活動の推進	◆「(仮称)いなざわお祭りスタンプラリー」を実施し、スタンプを集めた参加者には市内飲食店で使える食べ歩きクーポンやいなッピーグッズをプレゼントするなど、市内で開催されている祭り・イベントを通年でつなぐ仕組みを構築する。 ◆将来的にはスマートフォンアプリ等の活用を視野に入れて展開していくこととし、収集したデータは市内観光客の周遊データ分析に活用することで、次なる観光施策の推進につなげていく。	地域が主体となったイベントの開催	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 農商工業者 市民団体	中期 (3～5年)	【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 いなざわ観光まちづくりラボのメンバーが中心となり、市内の各種団体や大学、企業、行政等が参画する稲沢イルミネーションを平成30年11月17日から12月24日まで国府宮参道で開催した。 (期間中来場者数:12,600人) 【稲沢商工会議所】 検討中	【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 平成30年12月頃に国府宮参道で稲沢イルミネーションを開催予定。 【市観光協会】 いなざわ観光まちづくりラボが主体となって企画したイベントの開催支援に努めていく。 【稲沢商工会議所】 引き続き検討する。 【平和町商工会】 市等の関係団体に加え、まちづくり推進協議会とも協議し、地域特有の新たなイベントの創出を検討していく。
				「(仮称)いなざわお祭りスタンプラリー」の実施	市(商工観光課) 市(農務課) 市(都市整備課) 市観光協会 商工会議所 商工会 観光事業者 交通事業者 農商工業者 市民団体	中期(3～5年)	未実施	【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 実施に向けて検討していく。
				スマートフォンアプリ等の活用と市内観光客の動向分析	市(商工観光課) 市観光協会	中期(3～5年)	未実施	【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 実施に向けて検討していく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
基本方針3 観光を活用した地域経済が潤う仕組みの構築							
3	① 観光資源の価値と理解を深めるプロモーション	◆利用者が必要な情報を入手しやすいように観光情報を集約するための「観光ポータルサイト」を開設するほか、SNSをはじめとする新たなコミュニケーションツールを活用し、双方向の情報共有が可能な仕組みの構築を検討する。 ◆マスメディア、ケーブルテレビやタウン誌などの地域メディアとの連携を強化するとともに、フィルムコミッション事業を推進する。 ◆本市の魅力を広くPRするためのツールとして、市内外を問わず高い認知度を誇り、幅広い年代層から人気がある稲沢市公式マスコットキャラクター「いなっピー」や稲沢市観光PR大使、稲沢市キャンペーン・レディーを積極的に活用するほか、愛知県や愛知県観光協会をはじめとする関係機関・団体、大型商業施設や交通事業者等と連携した観光プロモーションを展開していく。 ◆本市への来訪意欲と消費意欲を喚起に向けて、今後ファンづくりとリピーターづくりが必要となるため、観光資源のブランディングにより本市の価値と魅力を高め、それに共感する人々を的確にターゲットとする戦略的な観光プロモーションを稲沢市観光協会を中心に取り組んでいく。	SNS等の新たなコミュニケーションツールを活用した情報発信 マスメディアや地域メディアとの連携強化 フィルムコミッション事業の推進 いなっピーの活用 稲沢市キャンペーン・レディーの活用 関係機関等と連携した観光プロモーションの推進 観光ポータルサイト・アプリの作成・運用 稲沢市観光PR大使の活用	市(商工観光課) 市観光協会 市民個人 市(商工観光課) 市観光協会 市(商工観光課) 市観光協会 市(商工観光課) 市観光協会 市観光協会 市(商工観光課) 県 市観光協会 県観光協会 観光事業者 交通事業者 市(商工観光課) 市観光協会 市(商工観光課)	短期 (1～3年) 短期 (1～3年) 短期 (1～3年) 短期 (1～3年) 短期 (1～3年) 短期 (1～3年) 中期 (3～5年) 中期 (3～5年)	【市】 稲沢あじさいまつり実行委員会、第10回愛知県観光交流サミットinいなざわ実行委員会でFacebookを活用し、祭り・イベント情報をリアルタイムで発信した。 【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 いなざわ観光まちづくりラボのメンバーが中心となり、愛知県稲沢市の隠れた魅力を見つける!!発信する!!情報ポータルサイト「いいなざわざわ」を平成30年4月1日付けで公開。Facebookとも連携した随時情報を行っている。 【祖父江町商工会】 商工会のTwitterを活用して、祖父江のイチヨウ黄葉や銀杏に関する情報を積極的に発信した。 【稲沢夏まつり実行委員会・稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 Facebookやinstagramを活用し、各祭り・イベントの情報をリアルタイムで発信した。 【市・市観光協会・祖父江町商工会】 各祭りでキャラバン隊を編成し、報道機関を訪問して重点的な宣伝PR活動を行った。また、稲沢市にしかない貴重な観光資源として、愛知DCのキャンペーン期間を通じて祖父江のイチヨウ黄葉を重点的にPRした。その結果、今年度は各祭りに対するメディア側からの取材や番組出演オファーが大きく増えた。 【市】 事業の取り組みとして、愛知県フィルムコミッション協議会に平成29年度末入会。今年度から各種情報提供を受けている。 【市・市観光協会】 市内外の観光イベントに参加出演し、稲沢市の観光プロモーションを行った。また、新ポーズとして「のぶながいなっピー」を制作し、「お城EXPO 2018」等での武将観光プロモーションに活用した。 【市観光協会】 いなっピーグッズを制作販売し、稲沢市のPRに努めた。 【市観光協会】 キャンペーン・レディー3名が年間を通じて市や関係団体が主催する観光イベントや事業に参加し、稲沢市の観光PR活動を行った。 【市・市観光協会・県・県観光協会・JRグループ】 愛知県、愛知県観光協会、JRグループほか観光関係者との連携により愛知DCの本番キャンペーンを展開。祖父江のイチヨウ黄葉を重点的にPRした結果、今年度の「そぶえイチヨウ黄葉まつり」には市内外から過去最多の27万人が来場した。 【市・市観光協会・県観光協会】 平成30年12月22日から24日までの3日間、パシフィコ横浜で開催された「お城EXPO 2018」に「信長公生誕地・勝幡城跡」で出展。愛知県、愛知県観光協会、県内自治体と連携し、三英傑ゆかりの城のPRを行った。また、愛知県観光協会に対して稲沢市の観光情報を積極的に提供し、愛知県の公式観光ガイド「AICHI NOW」及び「旬感あいち」を通じて県内外へ広くPRを行った。 【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 いなざわ観光まちづくりラボのメンバーが中心となり、愛知県稲沢市の隠れた魅力を見つける!!発信する!!情報ポータルサイト「いいなざわざわ」を平成30年4月1日付けで公開。市民が自ら記者となり、随時情報を発信している。 【市】 観光PR大使の候補者を検討していく。	【市】 Facebookを活用し、祭り・イベントの情報をリアルタイムで発信していく。 【市観光協会】 時代に即した情報ツールに対応するため、ホームページのリニューアルを行う。 【祖父江町商工会】 商工会のTwitterを活用して、祖父江のイチヨウ黄葉や銀杏に関する情報を引き続き発信していく。 【稲沢夏まつり実行委員会・稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 Facebookやinstagramを活用し、各祭り・イベントの情報をリアルタイムで発信していく。 【市・市観光協会】 稲沢市の観光資源の魅力を広く認知してもらうため、攻めの情報発信を行い、メディアの効果的な活用を目指す。 【市・市観光協会・祖父江町商工会】 祭りの開催に向けてキャラバン隊を編成し、報道機関を訪問するなど重点的な宣伝PR活動を行っている。 【市】 引き続き情報収集に努めるとともに、市内ロケ候補地の選出を目指す。 【市・市観光協会】 市内外の観光イベントへの参加出演するなど、稲沢市の観光プロモーションに積極的に活用していく。 【市観光協会】 新たないなっピーグッズを作成することにより、注目度と愛着を保つよう工夫する。 【市観光協会】 稲沢市の観光PRと知名度向上につながる活動に積極的に参加していく。併せて、キャンペーンレディーの活動自体の周知も図っていく。 【市・市観光協会・県・県観光協会・JR東海】 愛知県、愛知県観光協会、JR東海との連携により愛知DCアフターキャンペーン事業を展開し、稲沢市への観光誘客を図っていく。 【市・市観光協会・県・県観光協会】 「お城EXPO」をはじめとする武将観光イベントに出展するなど、愛知県、愛知県観光協会と連携して「信長公生誕地・勝幡城跡＝稲沢市」の知名度向上と観光誘客につながるプロモーションを展開する。 【市観光協会】 時代に即した情報ツールに対応するため、ホームページのリニューアルを行う。リニューアルされたホームページに、いなざわ観光まちづくりラボのメンバーが中心となって立ち上げたポータルサイト「いいなざわざわ」をリンク貼付することで、連携した情報発信に取り組んでいく。

NO.			アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
					『いなざわ』ブランドの創出と磨き上げ	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	【市・市観光協会・県・県観光協会・JRグループ】 稲沢市にしかない貴重な観光資源として、愛知DCのキャンペーン期間を通じて祖父江のイチョウ黄葉を重点的にPRした。その結果、今年度の祖父江イチョウ黄葉まつりには市外・県外を含め27万人の来場者が訪れた。 【市・市観光協会】 平成30年11月29日に開催した「第10回愛知県観光交流サミットinいなざわ」で織田信長公の有力な生誕地とされている「勝幡城跡」に着目したプログラムを各種展開し、「(仮称)三英傑の歴史がスタートした地=稲沢市」のブランド化への足掛かりとした。	【市】 「勝幡城跡」をはじめ、稲沢市周辺の信長公ゆかりの地域資源をまとめて紹介する冊子を作成する。作成後は、当冊子を活用して本市の魅力を市内外へ積極的に発信することで、「(仮称)三英傑の歴史がスタートした地」のブランド化に向けた取組を推進する。
					戦略的な観光プロモーションの実現(再掲)	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	【市】 「第10回愛知県観光交流サミットinいなざわ」の開催に合わせて稲沢市の観光プロモーション映像を作成。サミットのオープニング映像に使用したほか、名鉄国府宮駅の地下改札前に設置したデジタルサイネージで放映している。 【市・市観光協会】 稲沢市ふるさと応援寄付制度(ふるさと納税)の返礼品に、稲沢市の観光資源の魅力を体験できるメニューとして国府宮はだか祭「なおい特別栈敷券(ペア5組限定)」を新たに追加した。 また、愛知県、JRとの連携により愛知DC観光列車を実施し、遠方から訪れた乗客に対して車中で祖父江のイチョウ黄葉や銀杏、国府宮はだか祭をはじめとする本市の観光資源をPRした(10月～12月:月1回)。 【市観光協会】 平成30年11月に岐阜市の長良川うかいミュージアムで、来館者に対し祖父江のイチョウ黄葉のPR、銀杏の試食試飲販売等を実施した。	【市】 前年度に着手した武将観光の取組を具体的かつ継続的な事業へと発展させ、地域のブランド化につなげていくため、「勝幡城跡」をはじめ、稲沢市周辺の信長公ゆかりの地域資源をまとめて紹介する冊子を作成する。作成後は、当冊子を活用して「(仮称)三英傑の歴史がスタートした地」としての本市の魅力を市内外へ積極的に発信していく。また、「お城EXPO」をはじめとする武将観光イベントに出展するなど、愛知県、愛知県観光協会と連携して「信長公生誕地・勝幡城跡＝稲沢市」の知名度向上と観光誘客につながるプロモーションを展開する。 【市・市観光協会】 愛知県、愛知県観光協会、JR東海との連携により愛知DCアフターキャンペーン事業を展開し、祖父江のイチョウ黄葉をはじめとする本市観光資源への誘客を図っていく。 【市・市観光協会・稲沢商工会議所】 ふるさと納税ポータルサイトを活用して、稲沢市ふるさと応援寄付制度の返礼品となる国府宮はだか祭「なおい特別栈敷券」や本市特産品のPRに努めることで、稲沢市の観光の魅力を全国に発信する。
3	②		食の魅力づくり・お土産品の開発	◆本市の食材や食品、食文化を活用したイベント等の際に、食材・食品のPRと合わせて生産者、販売者の“こだわり”等を情報発信することで、商品の付加価値を高め、販路の拡大につなげる。 ◆「食」の地域ブランド化を推進し、シティプロモーションのツールとして活用する。 ◆市民や来訪者が特産品をいつでも気軽に入手でき、さらに飲食や休憩などでもできる場所として、主要駅前周辺施設や商店街空店舗の活用、JAの共同直売所の充実をはじめ、交流拠点の整備について検討していく。 ◆各祭り・イベントにおいて稲沢市PRコーナーを設置し、来訪者が特産品を気軽に購入できる環境を整備する。	稲沢市の「食」を活用したイベントの開催	市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 ・商工会 JA 観光事業者 農商工業者	短期 (1～3年)	【市】 今年度からNBMS商品開発プロジェクト(【NB】名古屋文理大学、【M】製造業(メーカー)、【I】稲沢市、【S】株式会社昭和)に4名の農業者が参画し、農作物を使った商品開発に携わった。そのうち1名の農業者については、試作品を(株)昭和の見本市にてPRし、現在販売に向けて取り組んでいる。	【市】 プロジェクトからの商品化に向けては、生産量が少ないこと、農業者と製造業者とのマッチングやコストがかかることが課題として挙げられる。”限定販売”し、商品の付加価値を高める必要があるほか、SNS等を活用した農業者の”こだわり”を発信できる場や民間業者や製造業者とのマッチングの場を設け、販路の拡大につなげていく必要がある。 【稲沢商工会議所・祖父江町商工会・平和町商工会】 今後関係団体と協議していく。
					特産品の認定及び販路拡大	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 農商工業者	短期 (1～3年)	【稲沢商工会議所】 現在特産品の認定を受けている商品について、事業者へ更新の意思を確認した。 【JA愛知西】 平成30年4月18日にJA愛知西産直広場一色下方店をオープンさせ、地元農産物の販路整備と同時にインショップ販売による集荷場施設を稼働させた。	【市・稲沢商工会議所】 ふるさと納税ポータルサイトを活用して、稲沢市ふるさと応援寄付制度の返礼品となる本市特産品のPRに努めることで、稲沢市の観光の魅力を全国に発信する。 【稲沢商工会議所】 稲沢市特産品認定委員会を開催予定。特産品の新規募集をかけ、ラインナップの増加を目指す。 【祖父江町商工会・平和町商工会】 今後関係団体と協議していく。 【JA愛知西】 農産物出荷者の増やすため、施設のメリットをPRしていく。

NO.			アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
					稲沢市の特性を活かした土産品の開発	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 農商工業者 市民団体	中期 (3～5年)	【祖父江町商工会】 銀杏を使った和洋菓子、グルメ、酒などの商品開発を行うとともに、銀杏自体も全国に向けてPR活動を行った。また、イチヨウの実である銀杏だけでなく、イチヨウの葉や剪定枝、果肉などを活用し、イチヨウの衣類防虫剤、フレグランスオイルキャンドル、イチヨウ葉エキスリキッドの試作品開発を行った。 【農商工業者】 市内に本社を構える株式会社昭和(食品流通業者)と岩本製菓株式会社が連携して、稲沢市特産のあしたばパウダーを使った「あしたばボーロ」を開発。株式会社昭和の見本市でのPRを経て、現在販売に向けて取り組んでいる。	【稲沢商工会議所】 稲沢市特産品認定委員会を開催予定。特産品の新規募集に合わせて、新商品の開発にも取り組む。 【祖父江町商工会】 開発商品の知名度を高め、土産品としてのブランド力向上に努めていく。 【平和町商工会】 今後関係団体と協議していく。
					「食」の地域ブランド化の推進	市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 農商工業者	中期 (3～5年)	【JA愛知西】 平成31年1月11日付けで祖父江ざんなん商標権存続期間更新登録申請を行った。	【市】 特産品のブランド強化及び6次産業化の推進に向け、関係団体等と連携していく。 【稲沢商工会議所・祖父江町商工会・平和町商工会】 今後関係団体と協議していく。
					生産者と消費者をつなげる交流拠点の整備	市(商工観光課) 市(農務課) 市(生涯学習課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 農商工業者	長期 (5年以上)	【市】 Inazawaこだわりファーマーズ(平成28年度6次産業化起業塾の卒業生らによって発足した農業者団体)の活動として、「いなざわ植木まつり」、「稲沢まつり」、「いなざわ梅まつり」等での出店、リーフウオークアピタ稲沢店での産直出店及び地元スーパーでの産直コーナーの出店を行った。 【JA愛知西】 平成30年4月18日にJA愛知西の産直広場の中でも最大店舗となる一色下方店をオープンさせた。	【市①】 産直について現在は不定期開催であり、リピーターとなる顧客の確保が難しい。そのため、定期開催もしくは次回の開催日を周知できるようチラシの作成やSNS等の媒体の活用を検討する。また、農業者団体の枠を超えて農業者間の横のつながりを広げていく必要がある。 【市②】 史跡尾張国分寺跡の保存整備計画を具体化していく中で、地域産業振興拠点としての「(仮称)ふれあい広場」について、関係部署とともに必要に応じて検討していく。 【平和町商工会】 今後関係団体と協議していく。 【JA愛知西】 農産物出荷者の増やすため、施設のメリットをPRしていく。
3	③		観光施設の安全確保と利便性の向上	◆子どもから高齢者、障害を持った方、外国人など来訪者の誰もが安心して観光施設を利用できるよう、施設の適正な維持管理に努める。 ◆バリアフリー化やユニバーサルデザイン化、Wi-Fi環境の整備を推進し、施設利用者の利便性向上を図る。	観光関連施設におけるWi-Fi環境の整備(再掲)	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者	中期 (3～5年)	未実施	【市】 名鉄国府宮駅の地下改札前に設置したデジタルサイネージの周辺エリアに無料Wi-Fi環境を整備する。
					観光関連施設の適切な維持・管理	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者	長期 (5年以上)	【市】 従来どおり、施設の適切な維持・管理に努めた。	【市】 誰もが安心して観光施設を利用できるよう、引き続き適切な維持・管理に努めていく。
					観光関連施設におけるバリアフリー化等の推進	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者	長期 (5年以上)	【市】 「(仮称)美濃路稲葉宿本陣跡ひろば整備」の設計に際し、施設のバリアフリー化を前提に取り組んだ。	【市】 平成32年度のオープンに向けて「(仮称)美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」の整備工事を進める。

NO.		アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
3	④	交通アクセスの充実・活用	◆コミュニティバスなどの公共交通機関や民間事業者と連携したレンタサイクルの活用などを検討し、市内を広く周遊できる環境を整備する。 ◆鉄道事業者との連携をさらに進め、外部からの誘客を図る事業を企画・立案し、来訪・交流人口の拡大による地域の活性化へとつなげる。	稲沢市コミュニティバスの活用	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	【市・市観光協会】 従来どおり、まつり・イベント会場や観光資源への案内に活用した。	【市観光協会】 バス路線の改訂に合わせて市内観光マップ「コミュニティバスに乗って観光地へ行こう!!」を改訂する。
				民間事業者と連携したレンタサイクル等の二次交通の開発・運営の検討	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 市民団体	中期 (3～5年)	未実施	【市・市観光協会】 実施に向けて検討していく。
				鉄道事業者と連携した誘客促進	市(商工観光課) 市観光協会 交通事業者	中期 (3～5年)	【市・市観光協会・県・県観光協会・JRグループ】 愛知DCの本番キャンペーンにおいて、愛知県、愛知県観光協会、JRグループと連携し、稲沢市の観光資源の宣伝販売のほか、観光列車によるプロモーション、周遊バスツアー（企画ツアーの中で最多集客を記録）を実施した。	【市・市観光協会・県・県観光協会・JR東海】 愛知県、愛知県観光協会、JR東海との連携により愛知DCアフターキャンペーン事業を展開し、稲沢市への観光誘客を図っていく。
3	⑤	トイレ、休憩所、駐車場の整備及び案内	◆市内を散策又はドライブ周遊する際に必要なトイレや休憩できる場所、駐車場について順次整備を進めるとともに、それらの情報を来訪者に分かりやすく提供する。 ◆各施設の整備に際しては、来訪者の誰もが安心して利用できるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザイン化に努める。	トイレ、休憩所、駐車場に関する情報提供	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	【市・市観光協会】 祭り・イベントのチラシ及び現地での案内に留まる。	【市・市観光協会】 市内の主要観光施設における現状を把握し、情報提供に努めていく。
				トイレ、休憩所、駐車場の適切な整備	市(商工観光課) 国・県 観光事業者 交通事業者 寺社	中期 (3～5年)	【市】 性海寺歴史公園(稲沢あじさいまつり会場)のトイレ表示板及び照明を取替修繕した。また、同公園駐車場の区画線を補修した。 また、「(仮称)美濃路稲葉宿本陣跡ひろば整備」の設計に際し、トイレ、休憩所、駐車場を含む施設のバリアフリー化を前提に取り組んだ。	【市】 平成32年度のオープンに向けて「(仮称)美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」の整備工事を進める。
3	⑥	イベント民泊の実施	◆国府宮はだか祭をはじめ多数の集客が見込まれる祭り・イベント時の交流促進や観光消費の拡大等につげるため、宿泊施設の不足解消に向けた一つの対策として、イベント民泊の実施について検討する。	イベント民泊の検討	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 寺社 市民個人	長期 (5年以上)	未実施	【市・市観光協会】 実施に向けて調査研究を進めていく。
				アジア競技大会・ボウリング競技における開催地誘致活動の推進	市(スポーツ課)	長期 (5年以上)	【市】 アジア競技大会は2026年9月から10月頃の16日間に渡り、愛知県・名古屋市を中心に開催が予定されている。稲沢市としてはボウリング競技の開催を目指しているが、会場となる稲沢グランドボウルは地上2階にあり、1階には不特定多数が入り出る商業施設が存在するため、防犯の面から非常に高いハードルがあることを愛知県振興部アジア競技大会推進課から通知を受けている。一方、2020年竣工を目指し、豊田合成が稲沢駅東に実業団のバレーボール、ハンドボール、バスケットボールの公式大会が開催できる体育館を建設している。これらを踏まえ、ボウリング競技と併せて体育館競技の誘致も視野に入れ誘致活動を展開していく。	【市】 会場選定等の具体的なスケジュールは示されていないため、アジア競技大会に関するイベント、会議等には積極的に参加し、機会を捉えて本市での開催をアピールしていく。
3	⑦	イベント・コンベンションの誘致	◆東京オリンピック・パラリンピック競技大会や夏季アジア競技大会をはじめとする国際的規模のスポーツ大会の開催機会を捉え、スポーツ・文化の事前合宿やイベント・コンベンションを誘致し、地域経済の活性化につなげる。 ◆誘致に際しては、名神高速道路、東名阪自動車道などの高速道路ネットワークに近接した立地環境や名古屋市から鉄道で約10分圏内であるという利便性を強調するほか、本市にある実業団スポーツチームとも連携協力し、イベント・コンベンションの開催地としての魅力をアピールしていく。	イベント(コンサート、発表会)・コンベンション(会議、集会、大会)の誘致	市(商工観光課 ほか) 市観光協会 商工会議所 商工会	長期 (5年以上)	【市・市観光協会】 今年で10回目を迎える愛知県観光交流サミットを稲沢市へ誘致し、平成30年11月29日に名古屋文理大学文化フォーラムで開催した。 (参加者数：約900人)	【平和町商工会】 誘致可能なイベント等の有無を検討していく。

NO.		アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	取組実績・進捗状況 【平成31年2月1日現在】	次年度の取組方針（課題を踏まえて）
3	⑧	国際姉妹友好都市との交流による外国人観光客の誘致	◆東京オリンピック・パラリンピック競技大会や夏季アジア競技大会の開催を契機として、姉妹都市であるギリシャのオリンピア市や友好都市である中国の赤峰市との交流を促進し、相互理解を深めるとともに、外国人観光客の誘客を図る。	ギリシャ共和国・オリンピア市ホストタウン推進事業	市（秘書広報課）	短期 （1～3年）	【市】 オリンピア市の中学生を市内のホームステイに招待し、お互いの国への理解を深め、東京オリンピックへの機運醸成を図った。 また、駐日ギリシャ大使館と連携し、歴代の聖火トーチの展示会を行った。	【市】 稲沢市とギリシャ（オリンピア市）の関係を市民にさらに浸透させ、受入環境を整備すべく、駐日ギリシャ大使館等と協力し、事業の周知に努める。
				国際友好事業	市（秘書広報課） 観光事業者 市民団体 市国際友好協会	中期 （3～5年）	【市】 国際友好協会による「語学講座」、「料理講座」、「ワールドダンスフェスタ」等の開催支援を行った。	【市】 外国人にとって魅力ある事業になるよう、国際友好協会主催事業の充実を図る。
3	⑨	観光まちづくりに資する観光統計の充実	◆地域づくりに資する指標と経済効果に関わる指標を併せて把握し、地域づくりと収益性の両面を満たした持続可能な観光まちづくりを目指す。 ◆ターゲットを絞ったプロモーションを実施し、市内への誘客につなげていくため、来訪者の属性や市内観光消費額、外国人観光客数等の必要な統計数値を各種調査により把握し、効果検証を重ね、事業の見直しと新規施策の企画立案に活用する。	アンケート調査等による市民意識の把握	市（商工観光課） 市観光協会	短期 （1～3年）	【市】 平成30年8月に市政世論調査を実施し、「稲沢市の『観光振興』に対する市民満足度」及び「稲沢市に対して誇りや愛着を持つ市民の割合」の最新値を把握した。	【市】 平成32年に市政世論調査を実施予定（隔年調査）。
				来訪者等に対するマーケティング調査の実施	市（商工観光課） 市観光協会	中期 （3～5年）	【市・市観光協会】 国府宮はだか祭、いなざわ梅まつり、いなざわ植木まつり、稲沢あじさいまつり、そぶえイチョウ黄葉まつりにおいて、来場者にアンケート調査を実施し、市内での一人当たり観光消費額の把握に努めた。	【市・市観光協会】 今後も継続的にアンケート調査を実施し、観光客のニーズを把握することで、祭り・イベントの運営や観光プロモーション活動に反映し、持続的な観光誘客につなげていく。また、市内観光消費額の把握に努め、観光を活用した地域経済が潤う仕組みの構築につなげていく
				観光に関する統計の整備	市（商工観光課） 市観光協会	中期 （3～5年）	【市・市観光協会】 愛知県観光レクリエーション利用者統計に基づく観光入込客数以外に、市内の各種イベント、祭り、産直広場、施設への来訪者数を把握に努めた。	【市・市観光協会】 今後も継続的に来訪者数調査を実施し、効果検証を重ねることで、市内への誘客につなげていく。